

令和2年7月30日

川西市長 越田 謙治郎 様

市立川西病院経営評価委員会  
委員長 邊見 公雄

市立川西病院の指定管理者による管理運営状況の評価について

令和元年7月23日付で諮問を受けた市立川西病院の指定管理者による管理運営状況の評価について、経営評価委員会ではこれまで4回にわたって審議してきました。つきましては、別紙「市立川西病院 指定管理者 評価表」のとおり評価し、以下の点を指摘して最終答申とします。

現在の病院の運営については、看護師の大量退職を発端として、令和元年5月から、看護体制を7対1から10対1に変更し、4階北病棟を休棟している状況です。

指定管理者は今年度内の回復を目指していましたが、現状は入院・外来患者数ともに低迷が続いているため、その回復は困難な状況です。

しかし、将来を見据えた小児科医師及び緩和ケア外科医師等の充実を図っていることや、その他の職員についても指定管理者制度開始時より増員を図っていること、年度末には天災ともいえるコロナウイルス感染症の影響をうけながらも、市が経営できなかつた病院を指定管理者が懸命に引き継いでいることなどをしっかりと評価すべきであるとの意見が大勢を占めていました。

そこで、本委員会からの付帯意見として、市立川西病院の指定管理者による管理運営状況を鑑み、「今年度内の看護体制7対1への回復及び4階北病棟の再開の見送りはやむを得ない」と付するものとします。

以上